

令和8年産

大崎稲作情報 第8号

令和8年9月14日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今後の管理のポイント

- 「ひとめぼれ」「ササニシキ」等中生品種が順次刈取適期を迎えています。
- 倒伏しているほ場は、穂発芽が進みやすいので、速やかに刈取りましょう。
- 晩生の「みやこがねもち」「つや姫」や直播水稻は刈遅れに注意しながら早めに刈取りましょう。
- 「金のいぶき」は、籾が黄色に稔実していれば、穂軸が青くても早めに刈取りましょう。

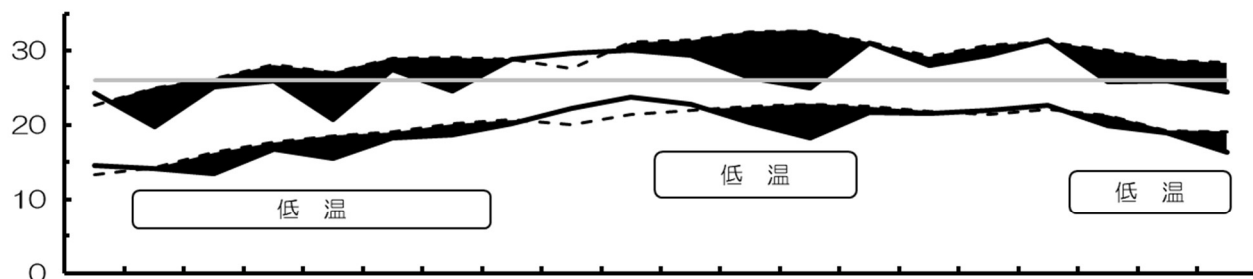
1 気象経過と生育概況

(1) 気象経過（前5か年間平均値との比較）

気温は7月第6半旬から低く推移しています。日照時間も7月第4半旬から少照傾向が続いています。降水量は8月第4半旬で少なかったものの、それ以降は断続的に降雨がありました。9月第2半旬には平年を上回る60mm以上の降雨がありました。

最高気温において、30℃を上回る時期はありましたが、7月29日以降における出穂後20日間の平均気温で高温登熟障害の目安となる26℃を超える期間はありませんでした。

最高・最低気温（℃）



日照時間（時間）

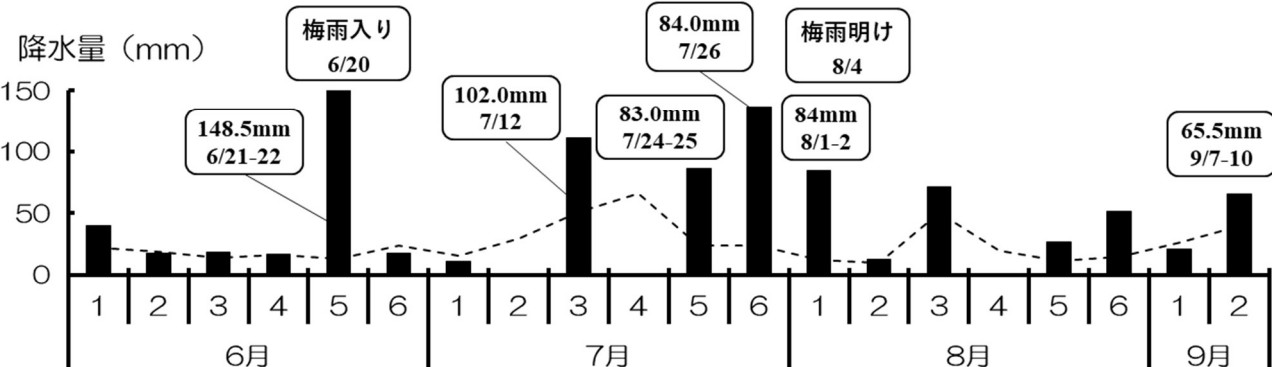
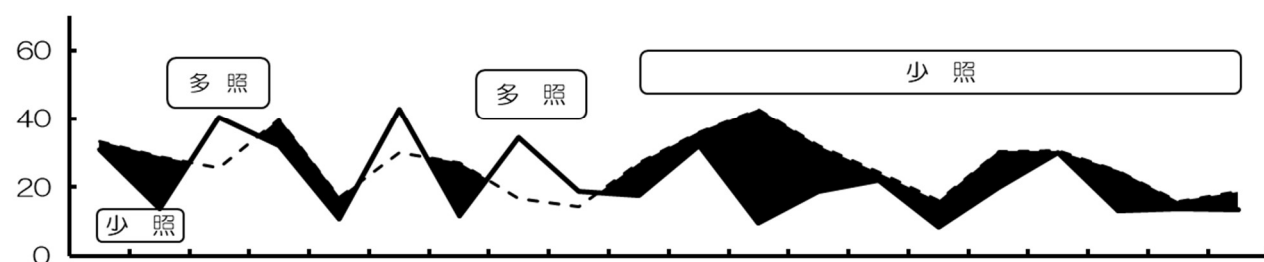


図1 6月第1半旬～9月第2半旬の気象（古川） ※前5か年平均値との比較。

(2) 生育概況

稈長・穂長はひとめぼれでは平年（直近5か年平均）よりやや長くなり、ササニシキではやや下回りましたが概ね平年並みとなりました。穂数は平年並み、籾数はひとめぼれ・ササニシキとも僅かに多くなっています。㎡当たり籾数は平年並～やや多めとなっています。

乾田直播栽培のササニシキは、稈長・穂長及び1穂籾数は概ね移植栽培並みとなりましたが、㎡当たりの穂数及び籾数は移植栽培を大きく下回りました。

移植栽培では、生育量の大きいほ場は9月上旬の降雨により倒伏が進んでいます。

表1 生育調査結果（出穂後25日調査）

栽培様式	品種名	地区名	前作	田植日 播種日 (平年・前年差)	出穂期 月/日 (前年・平年差)	出穂後25日					
						稈長	穂長	1穂籾数	㎡当穂数	㎡当籾数 ×100粒	GM
						(前年・平年比)	(前年・平年比)	(前年・平年比)	(前年・平年比)	(前年・平年比)	(前年・平年差)
移植	ひとめぼれ	大崎市三本木	水稻	5/5 (+1)	7/31 (+3)	94.1 (111%)	18.6 (103%)	64.4 (102%)	522 (106%)	336 (108%)	31.7 (+2.7)
	ササニシキ	大崎市古川	水稻	5/10 (+3)	7/31 (+1)	82.9 (96%)	17.6 (93%)	82.2 (101%)	437 (98%)	359 (99%)	27.7 (-3.3)
	平均			5/7 (+2)	7/31 (+2)	88.5 (104%)	18.1 (98%)	73.3 (102%)	480 (102%)	348 (104%)	30 (-0.3)
乾田直播	ササニシキ	大崎市古川	水稻	4/8 (-20)	8/13 (+2)	83.3 (97%)	17.7 (106%)	67.9 (103%)	308 (47%)	209 (49%)	31.5 (-5.3)
		大崎市三本木	水稻	4/13	8/11	89.5	18.0	90.2	353	319	34.2
	平均			4/10	8/12	86.4	17.9	79.1	331	264	32.9

2 適期刈取について

【積算平均気温による判定】

出穂期後の毎日の平均気温を積算して判定します。表2の品種別の積算気温において、刈取早限は適期始期、刈取晩限は適期終期の目安となります。たとえば、「ひとめぼれ」の刈取早限は940℃、刈取晩限は1,100℃です。

出穂以降前年や平年（前5か年）と比較して低温傾向が続いたため、8月中旬頃までに出穂したほ場では940℃に到達する日数は概ね40日程度となりました（表3）。

ひとめぼれやササニシキなどの中生品種のほ場では、近日中に刈取適期を迎えます。

みやこがねもち、つや姫などの晩生品種や直播栽培のほ場で、8月中旬以降に出穂したほ場での刈取適期は連休明け～10月以降に刈取適期を迎える見込みです。

北部平坦で7月29日以降に出穂したほ場では、出穂後20日間の平均気温が高温登熟障害の目安となる26℃を超えることはありませんでした。昨年と比較すると、0.3～0.6℃程度低いため、高温登熟障害による基白粒や背白粒は減少するとみられます。一方、籾数過多や倒伏したほ場では、未熟粒や乳白粒が増加する可能性があります。

今後の天気で降雨が続くと、ほ場に入れず刈取が遅れ、刈取適期を過ぎる恐れがあり、刈遅れになると、着色粒や同割粒が増加する可能性があります

表2 積算気温等による刈取適期の目安

品種名	積算気温	出穂後日数※
ひとめぼれ	940℃～1,100℃	40日～45日
まなむすめ 蔵の華	960℃～1,050℃	
ササニシキ	930℃～1,150℃	45日～50日
みやこがねもち	950℃～1,150℃	
だて正夢	1,020℃～1,060℃を目安に	50日前後
金のいぶき	1,050℃～1,150℃	50日～55日
つや姫	1,000℃～1,200℃	

※出穂後日数は過去30年の平均気温からの試算

表3 出穂期後の積算平均気温到達日（9/11以降の気温が前5か年並で推移した場合を想定）

地帯	積算気温	出穂期												備考
		7/29	7/31	8/2	8/4	8/6	8/8	8/10	8/12	8/14	8/16	8/18	8/20	
北部平坦	940℃	9/8	9/11	9/12	9/14	9/16	9/19	9/21	9/23	9/26	9/28	10/1	10/4	北部平坦 の出穂期 は8/1
	1000℃	9/11	9/13	9/15	9/17	9/19	9/21	9/24	9/26	9/29	10/1	10/4	10/7	
	1100℃	9/14	9/17	9/18	9/20	9/23	9/26	9/28	10/1	10/3	10/6	10/9	10/12	
	～940℃日数	41	42	41	41	41	42	42	42	43	43	44	45	
	出穂後 20日間 気温(℃)	本年	23.7	23.8	24.2	24.7	25.1	24.8	24.4	24.1	23.9	23.7	23.3	22.2
		前年	26.3	26.0	25.9	26.0	25.9	25.8	25.6	25.7	25.7	25.6	25.4	25.2
西部丘陵	940℃	9/10	9/12	9/14	9/15	9/18	9/20	9/22	9/25	9/27	9/30	10/2	10/5	西部丘陵 の出穂期 は8/4
	1000℃	9/12	9/14	9/16	9/18	9/20	9/23	9/26	9/28	10/1	10/3	10/6	10/9	
	1100℃	9/16	9/18	9/20	9/22	9/25	9/27	9/30	10/2	10/5	10/8	10/11	10/15	
	～940℃日数	43	43	43	42	43	43	43	44	44	45	45	46	
	出穂後 20日間 気温(℃)	本年	22.7	22.8	23.2	23.7	24.1	23.8	23.4	23.1	23.0	22.7	22.3	21.9
		前年	25.9	25.6	25.5	25.7	25.6	25.4	25.2	25.2	25.2	25.1	24.8	24.5

注1) 北部平坦は古川、西部丘陵は川渡のアメダスデータ使用。 9/11までは令和8年の値、9/11以降は前5か年平均値。
注2) 出穂期後の積算平均気温到達推定日は、出穂期翌日から積算平均気温が940、1000、1100℃を超えた日とした。
注3) 「～940℃日数」は出穂後の積算平均気温が940℃に到達するまでの日数。
注4) 「出穂後20日気温」は、出穂後20日間の日平均気温の平均値。26℃以上（太字部分）では白未熟粒の発生が増加する。

【穂発芽粒の低減】

穂発芽のし易さは品種によって異なり、「金のいぶき」、「みやこがねもち」、「ササニシキ」、「つや姫」は「ひとめぼれ」よりも穂発芽しやすい特徴があります（表4）。

また、倒伏したほ場や生育量が多いほ場では籾周辺の湿度が高まり、穂発芽しやすくなります（図2）。

1か月予報では「気温が高くなる見込み」となっているため、「ひとめぼれ」などの中生品種で刈取適期を迎えたほ場は早急に刈取るとともに、晩生品種の「みやこがねもち」や「つや姫」、直播栽培のほ場も刈取適期内に刈取りましょう。また、「降水量が平年並みか多い見込み」となっているため、降雨の状態や予報を確認しながら刈取を進めましょう。

「金のいぶき」は通常、ある程度不稔が生じますが、稔実籾が黄色であれば、穂軸が青くても早めに刈取りましょう。

なびきや倒伏などで、局所的に穂発芽粒が多いところは刈分けしましょう。



表4 優良品種の穂発芽性

	3 易	4 やや易	5 中	6 やや難	7 難
極早生・早生	ヒメノモチ				やまのしずく ゆきむすび
中生	ササニシキ トヨニシキ		たきたて 金のいぶき	蔵の華 だて正夢	ひとめぼれ まなむすめ 東北194号 げんきまる
	みやこがねもち		つや姫	こもちまる	コシヒカリ
晩生・極晩生					

図2 倒伏した「ひとめぼれ」の穂発芽

適正な乾燥・調製に努めましょう。
乾燥・調製のポイントは「大崎稲作
情報第7号」を参照願います。

農業機械作業による死亡事故割合が高い状況を踏まえ、①ほ場周辺の危険箇所の確認・改善及び危険回避行動の実践、②シートベルトとヘルメットの着用、③トラクターへの安全フレーム・安全キャブの使用の呼びかけを行います。

先進技術第一班 0229-91-0726 (担当：羽場)